

平成29年12月萩市議会における地域医療関連質問等について
 【萩医療圏地域医療構想病床機能等検討部会長作成】

萩市議会議員からの質問（要旨）

- 萩市民病院新改革プランの進捗状況と課題について
 - ① 萩市民病院の果たすべき役割4課題の進捗状況は
 - ② 萩市民病院の病床数は長門総合病院や山口赤十字病院、済生会山口病院など周辺地域の公的病院の機能強化が図られていく中、100床で良いのか。
 - ③ 萩市民病院の医療従事者の労働条件・勤務環境に関し、病床機能を強化する上で、どう取り組んでいるのか。
- 萩医療圏における萩市民病院の役割について
 - ① 地域医療構想の取組みは持続可能な質の高い地域医療の確保を目指すものであり、市民の関心は地域で完結する医療の確保にある。また、急性期病院の再編等、産科と小児科の連携体制の強化が萩市民病院新改革プランでも課題と認識されている。どう具体的に取組むのか。
 - ② 地域包括ケアシステムへの取組みに関して、高齢化の進展、高齢者の独居世帯の増加が進む萩地域にあってその整備は急務。萩市民病院が担う急性期機能を地域包括ケアシステムの中で如何に発揮していくのか
 - ③ 医師・看護師確保の取組みとして、多忙な医師の勤務環境改善が必要。特に医師が高齢化している萩地域にあっては医師の確保や看護師を始め医師の負担を軽減する従事者の確保も必要。また、患者のケアを低下させないためには認定看護師などスキルアップも必要。対応として、どう取り組んでいるのか。

萩市の回答（基調）

（4つの課題の内）「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」については、その必要性を承知し今後の検討事項としており、必要であれば見直す。
 （課題は）市民病院だけの取組みでは解決できないものであり、現時点では具体的な進展はない。山口県、山口大学、医師会、地域医療構想調整会議等と協議・調整を行い、最適な方向性を決定していく。

萩市議会議員からの要望（注文）

- ・ 手術は市外の病院が担うようになれば「地域完結型の医療」は出来ない。
- ・ 萩市民からの期待や医師会など民間医療関係者からの市民病院に対する地域医療の中核的な役割への期待に応えるためにも具体的な方向性を早く打ち出して欲しい。この1、2年でまとめられたい。
- ・ 例えば、高度急性期医療では萩市で何が出来て、他の地域で何を受けてもらうのか。産科と小児科を標榜している病院と診療所が現に何を連携し、今後、何を強化していくのかなど抽象的に「連携」と表現するのではなく、具体的に市民に示すことを求める。

【参考】

萩市民病院事業新改革プラン（公立病院改革プラン）の役割、4つの課題

- ・ 高度急性期医療の一部及び急性期医療並びに二次救急医療について、圏域内で完結できるように急性期病院の機能再編・統合等による医療機関の整備
- ・ 産科と小児科の連携体制の強化
- ・ 地域包括ケアシステムへの取組み
- ・ 研修や教育の充実による医師をはじめとした医療従事者の養成及び確保